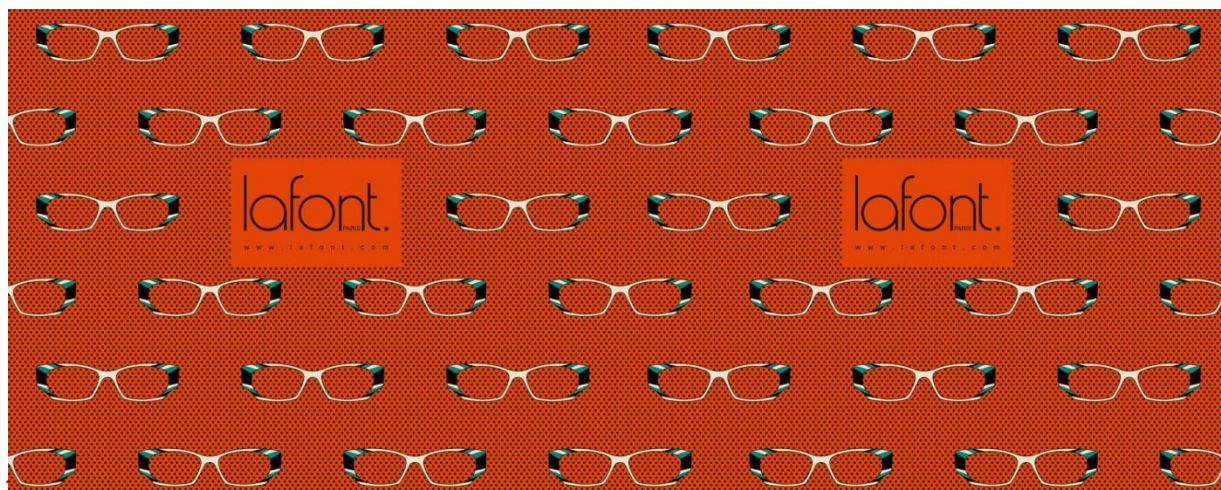


lafont.

PARIS

「カフェ・ド・ラフォン 24 号」 MIDO2015



1. 新作のテーマについて

2015 ミッド秋冬コレクションのテーマは「ナチュラル・コレクション」。

新作は「シンプル」「温かみ」「自然」がキーワード。

よりシンプルに、洗練されたイメージでコレクションは作られました。

ディスプレイには、自然の素材や原木を使用し素朴さを表現しています。

20 世紀の有名な画家から着想を受けているディスプレイの絵も、絵の具ではなくシンプルなデッサン画で描かれています。

テーマカラーは「オレンジ」。太陽の光と熱、活力と温かみを意味しています。



2. リバティファブリックについて

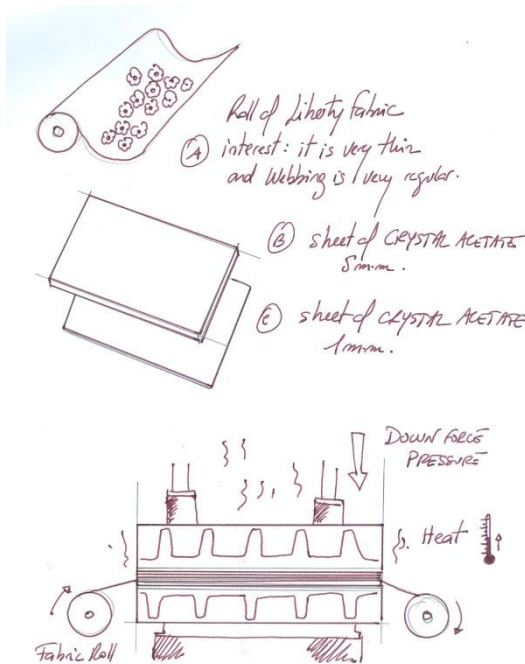


新作のキッズフレームでは、コットン生地をセルの間に挟み込む技法が使われています。

「リバティファブリック」と呼ばれるコットン生地は、レトロで多色使いの柄をプリントした模様が特徴的な生地です。イギリス・ロンドンのリバティ社から取り寄せた生地を用いています。



「ラミネートファブリック」の製造工程はシンプルですが、素材の温度と湿度管理に技術が必要とされます（左図）。薄い生地を広げ、1mm と 8mm のクリアのセル生地に挟み込み、熱を加えながら圧着します。



「リバティファブリック」を採用したきっかけは、初代のデザイナーであったロランスに遡ります。

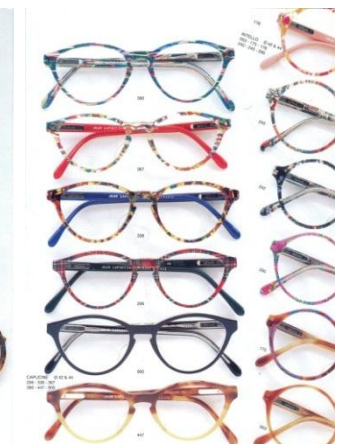
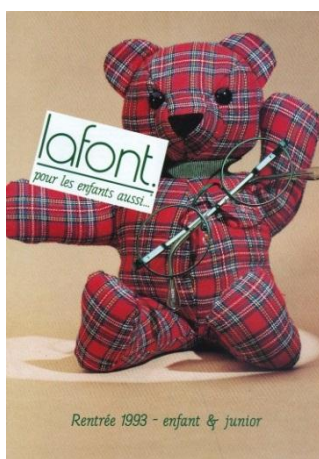
彼女はアイウェアの世界に入るまでは、テキスタイルのデザイナーであり、その道において才能がありました。

その経験を活かし、アイウェアにおいてもモチーフにファブリックを多用しました。

ファブリックはラフオンの DNA の一部であると言えます。

下記の画像は、1992年のキッズカタログ。

すでに「リバティファブリック」がデザインで多用されています。



3. L シリーズ (L SERIE) について



L シリーズのLは、「英語で Light (フランス語で leger レジェ)」の頭文字で、軽さを追求したシリーズです。これまで軽量化にはチタンやステンレス、カーボン等が使用され、フルアセテートで作られることはありませんでした。

今回ラフォン社が採用した High Density acetate (高密度アセテート) と呼ばれる素材は、有名なフランスのアセテートメーカーが約 15 年前に発表した技術です。

「Light/Leger」はスリムとシンプルに加えて、快適さの象徴でもあります。

それらの要素は、眼鏡業界とその顧客にとって大切なものであると認識されつつあります。

近年、煌びやかさや豪華さなどの外見だけではなく、人々がシンプルとナチュラルを重要だと捉え始めたことは、ファッション界の革命であると言えます。

4. グラフィックイラストレーションについて

今回のグラフィックイラストレーションは、シルモコレクションから始まったプロジェクトの流れを汲みます。

シルモコレクションでは、ルーヴル美術館でラフォンのフレームに合いそうな作品を探して撮影しました。

今回のミドでは、油絵や有名な写真からは離れ、有名無名問わずラフな白黒のスケッチ画を探しました。

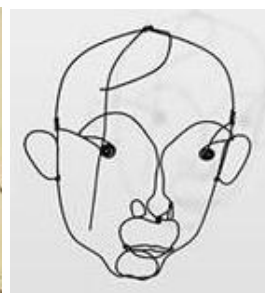
そのスケッチをミドコレクションとブースのイメージに合うようアレンジしています。

サシャ、アンリ・マティス、ピカソの辺りを参考にしましたが模写はしていません。

今回のイラストは全て一人のスタッフが描き、他のスタッフの意見を元に修正を重ねました。

できる限り多くのスケッチを描き、多種多様な人々の顔とムードに合わせようとしています。

今回のコレクションでは、複雑な技術よりもシンプルであることに重点を置き、大らかでありながらも繊細なバランスを兼ね備えた描写となるように心掛けました。



5. 新作モデルについて

ROMY（ロミー）

人気モデル CLAIRES の流れを汲んだ新型。フロントは、流れる曲線をイメージした「リボンモチーフ」。

フロントのWカラーコーティングはハンドペイントで3回に分けて塗装しており、1時間に8本しか作ることが出来ません。



RUBAN・REINE・REGINA（リュボン・レンヌ・レジーナ）

テンプルのエッチング模様は、かつてロランスが愛した70年代のクラシックスカーフをイメージした幾何学模様。

イタリア VISOTTICA 社の新作ヒンジを採用。メタルフロントにはドイツ製のモネル素材を使用。



RENONCULE (ルノンクル)

かつてベストセラーであった「GINETTE」「OPHELIA」「OMBLINE」の流れを汲むモデル。

フレーム名は丸い花を意味し、見ていてロマンチックなイメージの湧くデザイン。

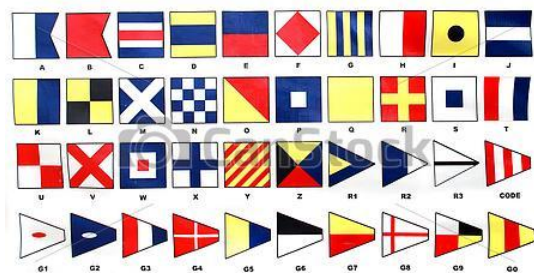


OPHELIA (2005 年モデル)

RENDEZ-VOUS (ランデブー)

モチーフはネクタイや国際信号旗（海上で船舶間での通信に利用される世界共通の旗）。

2色のアセテートを接着しカッティングを施すことにより、幾何学的なモザイク模様且つ色のほとばしりを表現。



PLATON（プラトン）

テンプルは3色のセル生地を接着し、シルクの質感を表現。

メンズアクセサリーとしては、このテンプルは靴に対するソックスの役割に似ています。



RENATA（レナータ）

表面処理は花崗岩（グラナイト）をイメージ。

グラデーションはアイラッシュやアイシャドーモチーフ。



REBECCA（レベッカ）

前作のベストセラー「PETALE」の後継モデル。エレガントなバタフライモチーフ。

フロントのWカラーコーティングは、「ROMY」同様ハンドペイントで3回に分けて塗装しています。



6. 新作ブロック生地について

ヴィンテージカラーの流行は5年前位からあるもので、ナチュラルホーン・亀甲柄・ウッドなどをイメージしています。

現在、マーケットは新しいカラーの組み合わせを模索しており、これらのヴィンテージカラーは昔マツケリ社が作っていた大理石模様を再構築して作りました。

インスピレーションは、ラピスラズリ・マラカイト・ルビー・ゾイサイト・琥珀などから得ています。

